

株式会社 バイク王 & カンパニー

---

# 第26回定時株主総会

2024年2月27日

バイクのことなら

**BIKE 王**

# 1. 議長宣言・開会宣言

## 2. 定足数報告

# 3. 監査結果報告

招集ご通知 P44～47

# 監査結果報告

## 計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書		2024年1月16日
株式会社バイク王&カンパニー 取締役会 御中		
赤坂有限責任監査法人 東京都港区		
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	池田 勉
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	荒川 和也
<b>監査意見</b> 当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社バイク王&カンパニーの2022年12月1日から2023年11月30日までの第26期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。 当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。		
<b>監査意見の根拠</b> 当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。		
<b>その他の記載内容</b> その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。 当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。 計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。 当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。 その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。		
<b>計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任</b> 経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。		

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査等委員会監査報告

監査報告書
当監査等委員会は、2022年12月1日から2023年11月30日までの第26期事業年度における取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。
<b>1. 監査の方法及びその内容</b> 監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施いたしました。 ①監査等委員会が定めた監査等委員会監査等基準に準拠し、監査方針、監査計画、職務の分担等に従い、会社の内部監査部門その他の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役、執行役員及び内部統制部門等の使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。 ②会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について監査計画、四半期レビュー結果、期末監査結果等の報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。なお、監査上の主要な検討事項（KAM）については、赤坂有限責任監査法人と協議を行うとともに、その監査の実施状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

法令及び定款に従い、会社の状況を正  
当の行為又は法令若しくは定款に違反す  
る行為の発生を防止し、会社の決議の内容は相当であると認めま  
るべき事項の記載内容及び取締役  
の職務の執行に関する事項は認められません。

結果  
監査の方法及び結果は相当であると認

会社バイク王&カンパニー  
監査等委員会

監査等委員 上 沢 徹 二 ㊟  
監査等委員 三 上 純 昭 ㊟  
監査等委員 森 順 子 ㊟

(注) 監査等委員三上純昭及び森順子は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以上

## 4. 事業報告

招集ご通知 P 3 ~ 22

## 国内経済

7 - 9 月期の実質GDP成長率が  
年率換算マイナス2.9%と  
3 四半期ぶりのマイナス成長

物価上昇は、9 月、10月のコアCPIは  
2 か月連続で3%を割り込んでおり落ち着く

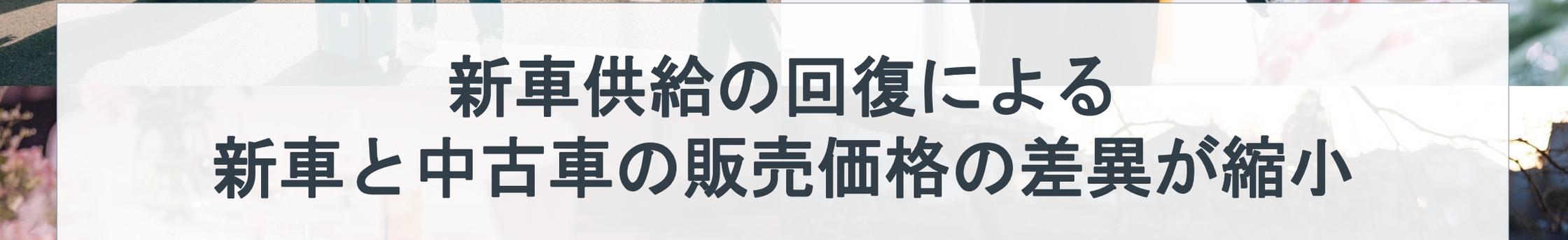
実質賃金の低下要因が解消される兆し  
今後の緩やかな景気回復の見方を支えている

コロナ禍による人々の行動の変化として  
リターンライダーや新規ライダーの増加に  
表れるバイク志向の高まり

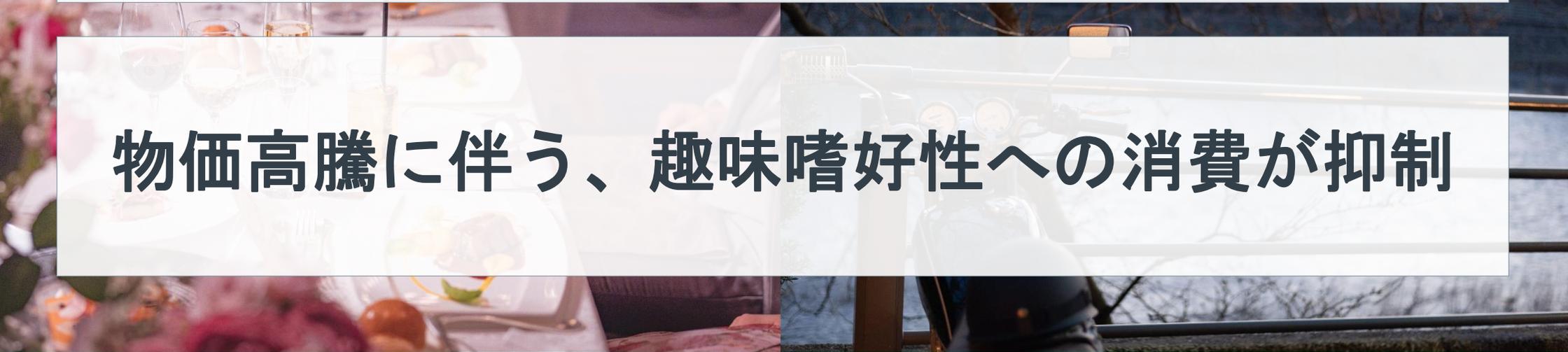
新型コロナウイルス感染症の  
5 類移行に伴う行動制限緩和や  
経済活動の正常化などの環境変化



消費の選択肢が増えたことによる  
バイク需要に向かった消費の分散化



新車供給の回復による  
新車と中古車の販売価格の差異が縮小

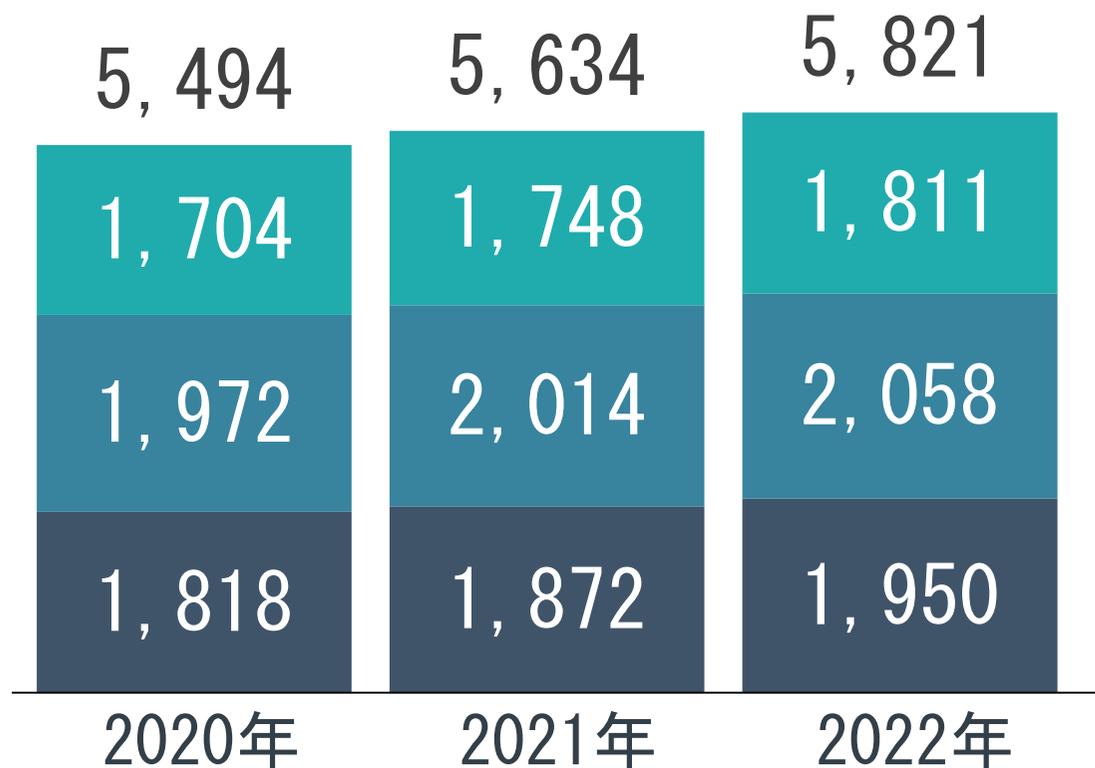


物価高騰に伴う、趣味嗜好性への消費が抑制

## ■保有台数の推移

出典：一般社団法人日本自動車工業会  
／各年3月末日ベース

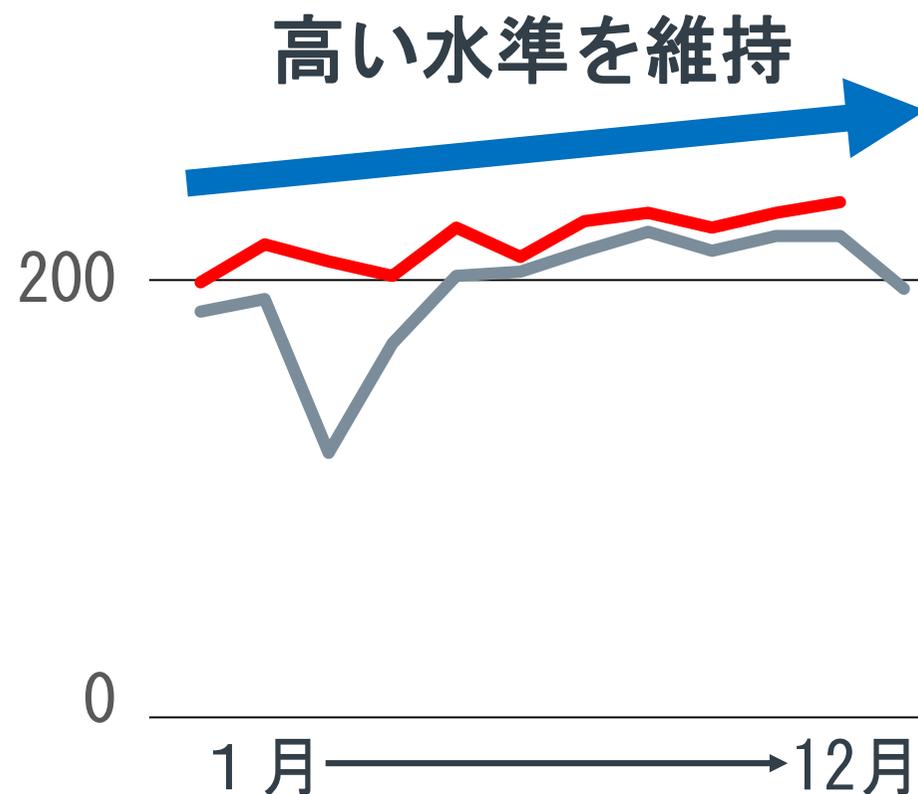
■ 小型二輪 (251cc～)  
■ 軽二輪 (126cc～250cc)  
■ 原付二種 (51cc～125cc)  
(単位：千台)



## ■オークション相場の推移

出典：自社調べ

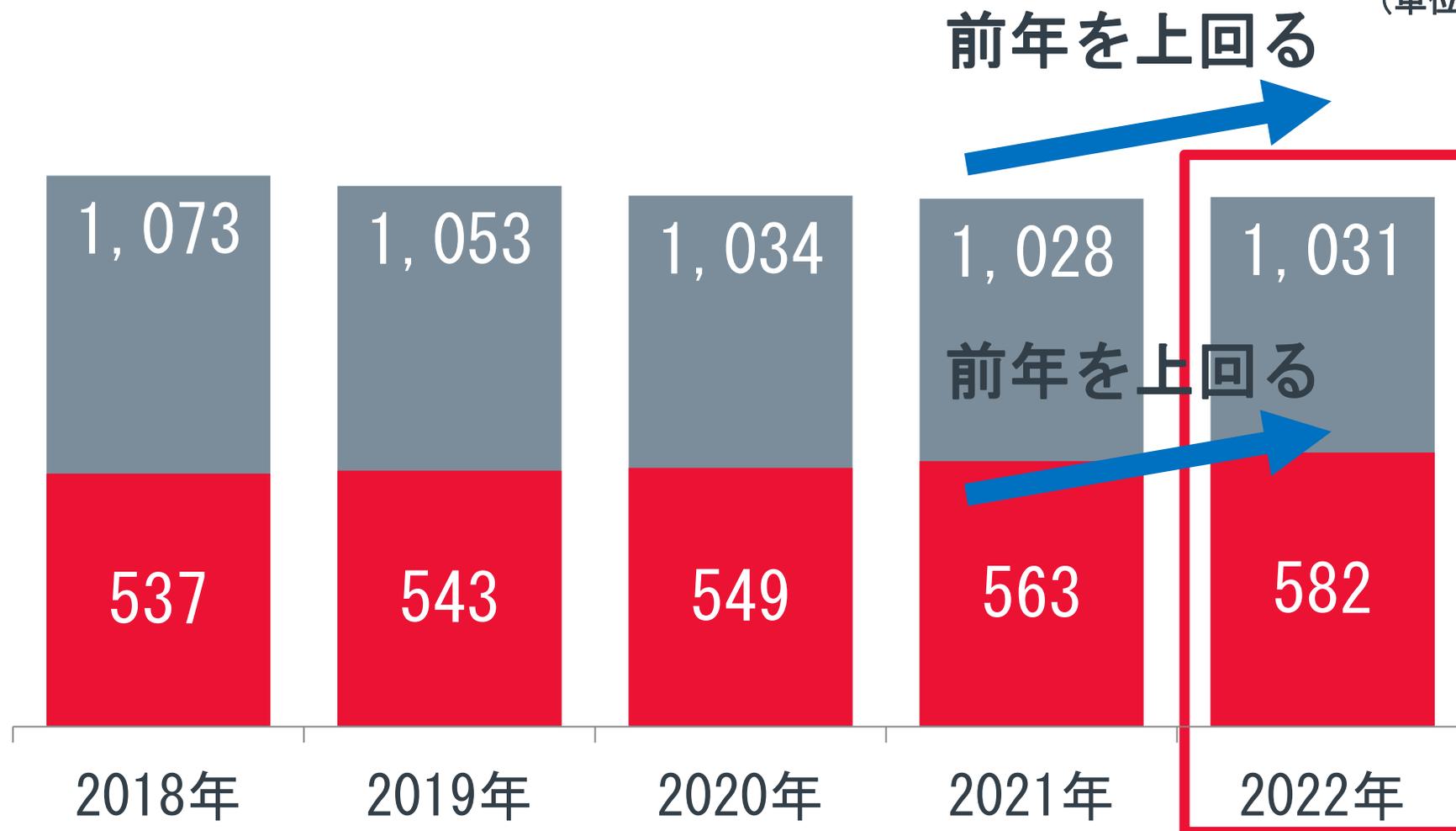
— 2023年  
— 2022年  
(単位：千円)



## ■国内のバイク保有台数

出典：一般社団法人日本自動車工業会／各年3月末日ベース

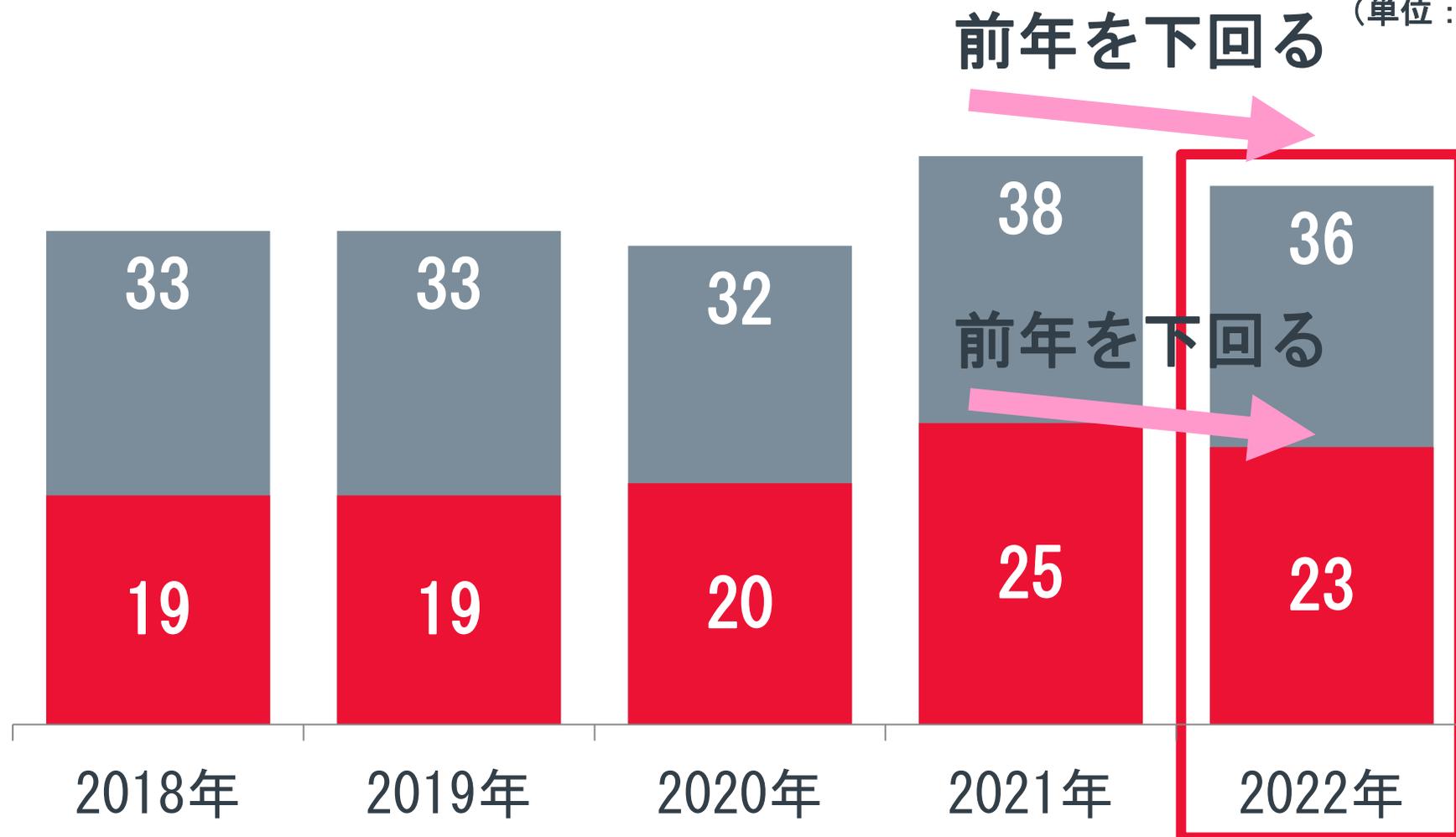
■合計  
■原付二種以上  
(単位：万台)



## ■国内の新車販売台数

出典：一般社団法人日本自動車工業会／暦年ベース

■合計  
■原付二種以上  
(単位：万台)



## コーポレートミッション

「まだ世界にない、感動をつくる。」

## ビジョン

「バイクライフの生涯パートナー」の実現

## 2023年11月期の中期経営計画 UXグロースモデルを確立

- ①店舗開発によるお客様接点の増加
- ②CRMシステムの構築によるデータに立脚したマーケティング活動
- ③サービス拡充・整備事業のネットワーク化

新規・移転増床合わせて10店舗を開発

CRMシステムを活用した新規会員獲得と  
利用促進を図ることによって会員数が増加

ユーザーとバイクショップを  
マッチングさせるサービス  
「BOCS (ボックス)」の運用を開始

当事業年度は、関連会社からの臨時的な受取配当金は発生いたしませんでした。

(株)ライフ&カンパニーと(株)バイク王ダイレクトの吸収合併を踏まえ、保有株式の評価減、貸倒引当金、店舗の減損処理を実施し、特別損失を計上いたしました。

## ■ 個別の業績ハイライト

(単位：百万円)

	第25期	第26期	増減額	増減率
売上高	33,480	33,068	△412	△1.2%
営業利益(△損失)	1,653	△166	△1,819	—
経常利益	2,259	150	△2,108	△93.3%
当期純利益(△損失)	1,550	△110	△1,660	—

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 5. 計算書類報告

招集ご通知 P23～24

(単位：百万円)

	第25期	第26期	増減額
流動資産合計	9,102	8,234	△868
固定資産合計	2,914	3,820	906
有形固定資産	1,050	1,379	329
無形固定資産	612	588	△24
投資その他の資産	1,251	1,852	601
資産合計	12,017	12,054	37

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

	第25期	第26期	増減額
流動負債合計	4,327	4,610	282
固定負債合計	763	1,049	285
負債合計	5,091	5,660	568
純資産合計	6,925	6,394	△531
負債・純資産合計	12,017	12,054	37

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

	第25期	第26期	増減額	増減率
売上高	33,480	33,068	△412	△1.2%
売上総利益	13,174	12,199	△974	△7.4%
販売費及び一般管理費	11,520	12,365	845	7.3%
営業利益(△損失)	1,653	△166	△1,819	—
経常利益	2,259	150	△2,108	△93.3%
当期純利益(△損失)	1,550	△110	△1,660	—

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

バイクのことなら

**BIKE 王**

これまでの振り返り  
今後の取り組み

## コーポレートミッション

「まだ世界にない、感動をつくる。」

## ビジョン

「バイクライフの生涯パートナー」の実現

二つの大きな課題

広告効率の悪化  
営業人財の育成



## ■ 広告効率の悪化

上期

外部環境の影響はない中で  
積極的に広告を投下



想定以上の効果は得られず  
広告効率が悪化

下期

ブランディング広告からレスポンス広告に変更し、電話番号の訴求を強化



中古四輪車業界のネガティブな報道が取り上げられ、その影響が一時的に波及した可能性があり、お問い合わせが大きく減少

**早急に広告効率の改善かつ  
広告に頼らない仕入チャネルの開発、強化**

## ■営業人財の育成

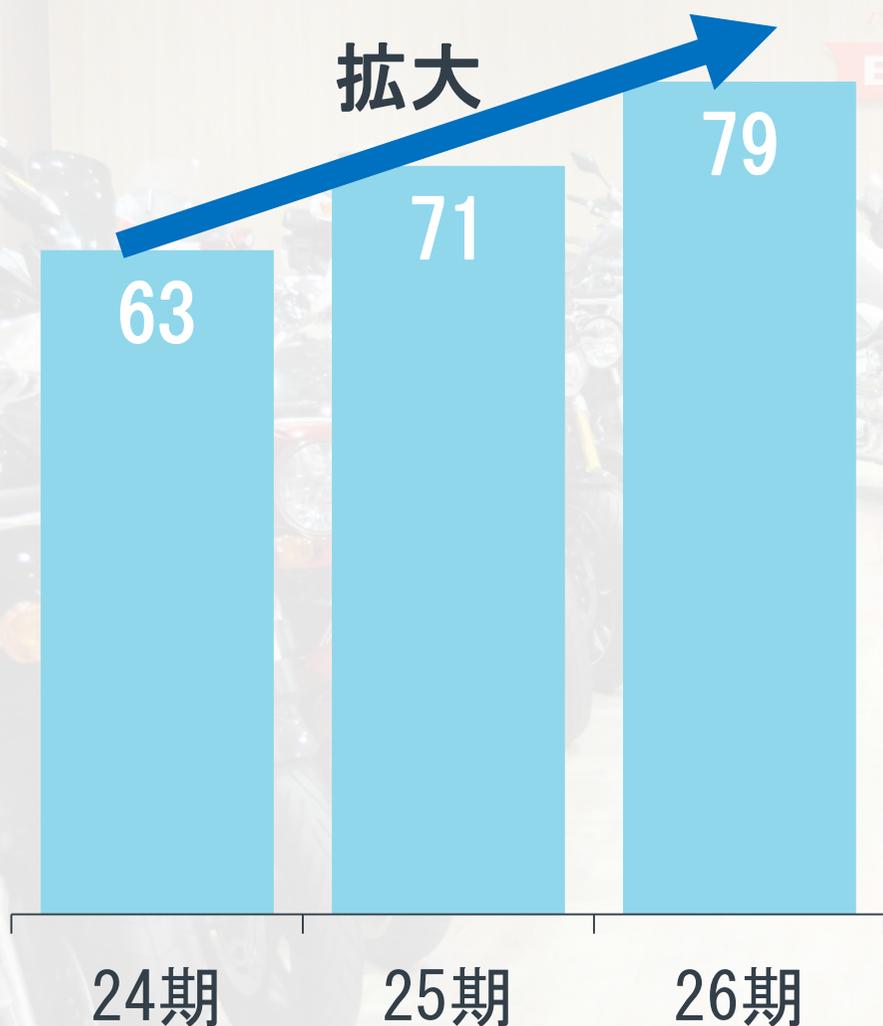
仕入台数の確保に注力したことで、  
仕入価格の上振れが発生



仕入価格の適正化に努めることで  
改善したものの、仕入原価管理の徹底と  
営業プロセスの管理不足により  
査定成約率が低下し、仕入台数の減少

**仕入価格を適正化した上で査定成約率の向上**

## ■店舗の推移



社員の採用や育成が手薄  
一店舗当たりの人員数、  
平均勤続年数の減少  
既存店から新店に戦力が集中  
各エリアに戦力が分散化



各店舗での営業力の  
低下が発生

新規店舗の開発を抑制、  
採算性に課題のある店舗を統廃合、  
人財の確保と育成のバランスを考慮した出店  
行うことで、営業力の向上に繋げる



バイク事業をあらためて成長軌道に  
乗せるための活動および  
利益体質の改善に専念

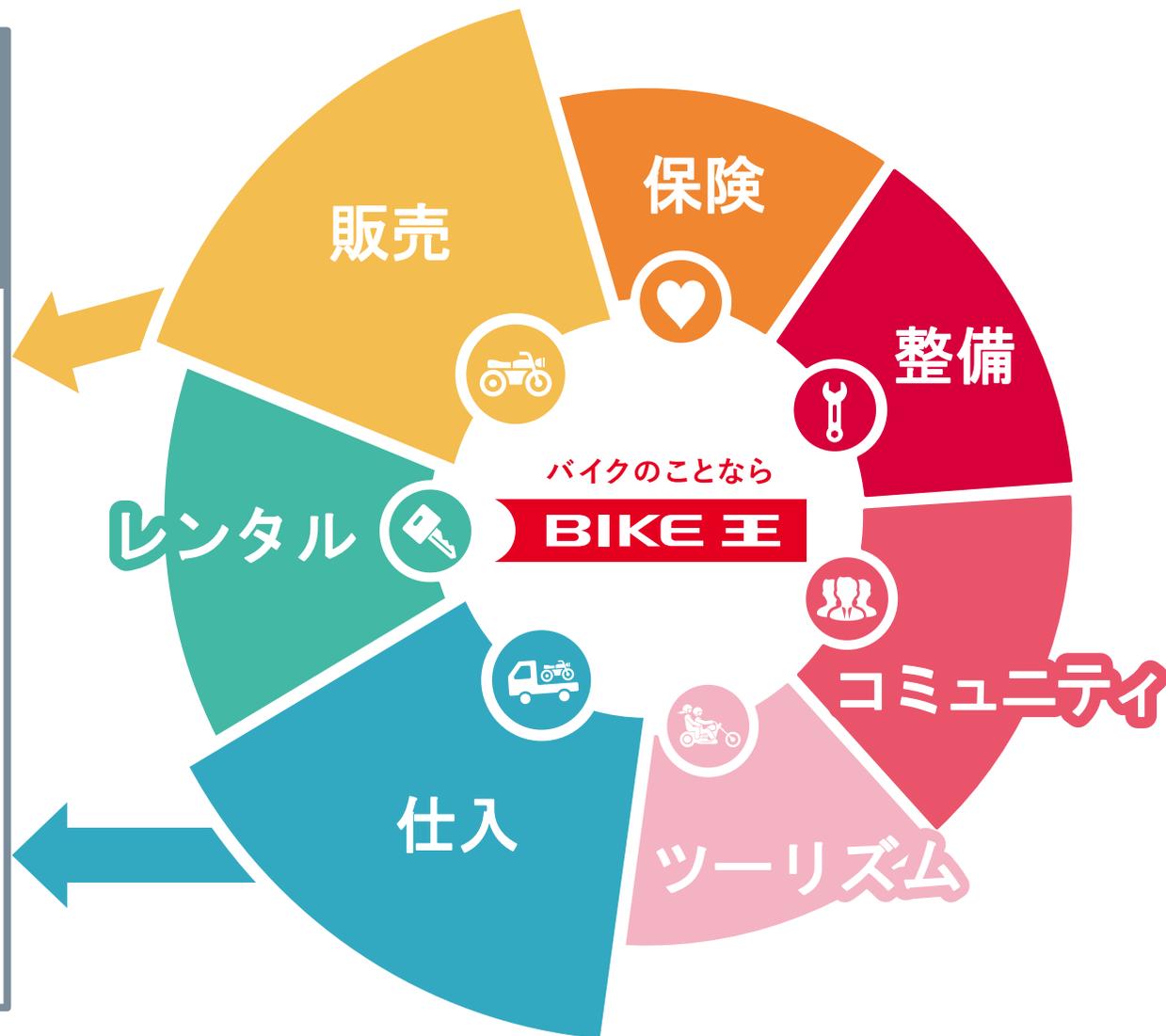
**第27期における戦略方針**  
**仕入・販売に関する主な施策**  
**通期業績予想**

バイク事業をあらためて成長軌道に乗せるための  
活動および利益体質の改善に専念

「売るのも買うのも  
バイク王」を軸とした  
ブランディング

【ターゲットを明確化】

新規のお客様  
乗換層のお客様  
手放層のお客様

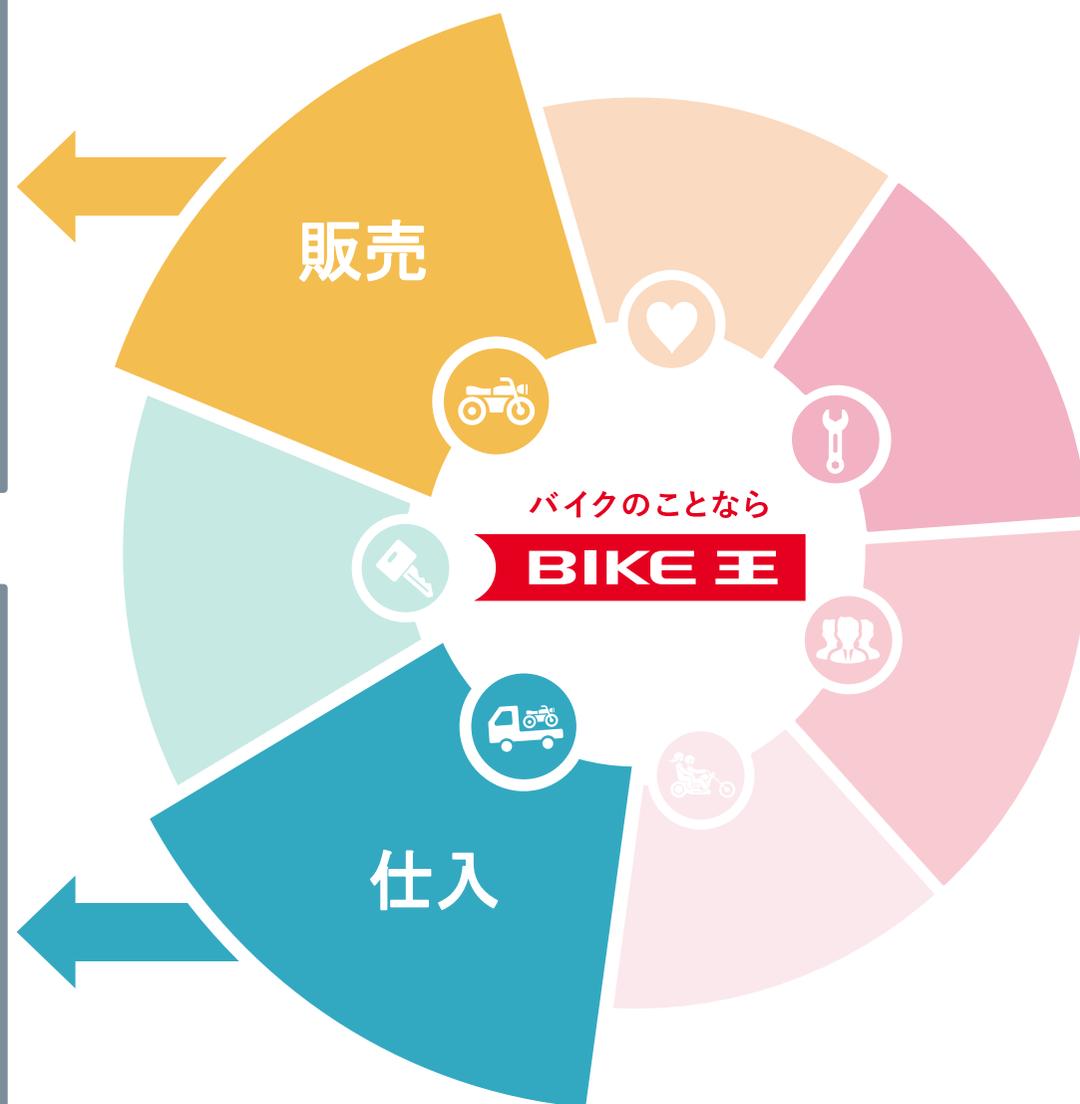


乗換層のお客様に  
他社との差別化を図った  
独自サービスを提供

新規のお客様に  
魅力的な商品を強化

乗換層のお客様に  
マーケティングによる  
新規獲得を強化

手放層のお客様に  
SNSをはじめとした  
新規媒体を強化



## 営業管理体制の強化

仕入プロセス管理手法の導入と運用、OJT実施体制の強化

## マーケティングの強化

「売るのも買うのもバイク王」を軸としたブランディング  
手放層・一時手放層のボリュームを維持しながら効率化  
乗換層へのアプローチ手法の確立と運用  
パーツ・用品店併設店舗における協業施策

## サービス開発

広告に頼らない仕入チャネルの開発・強化

## 営業管理体制の強化

### OJT実施体制の強化

## マーケティングの強化

「売るのも買うのもバイク王」を軸としたブランディング  
乗換層へのアプローチ手法の確立と運用  
パーツ・用品店併設店舗における協業施策

## サービス開発

出店の見直し  
市場の価格に左右されない販売手法の開発  
通信販売・アウトレット強化

(単位：百万円)

	第26期	第27期	増減額	増減率
売上高	33,068	37,100	4,031	12.2%
営業利益(△損失)	△166	600	766	—
経常利益	150	900	749	498.5%
当期純利益(△損失)	△110	500	610	—

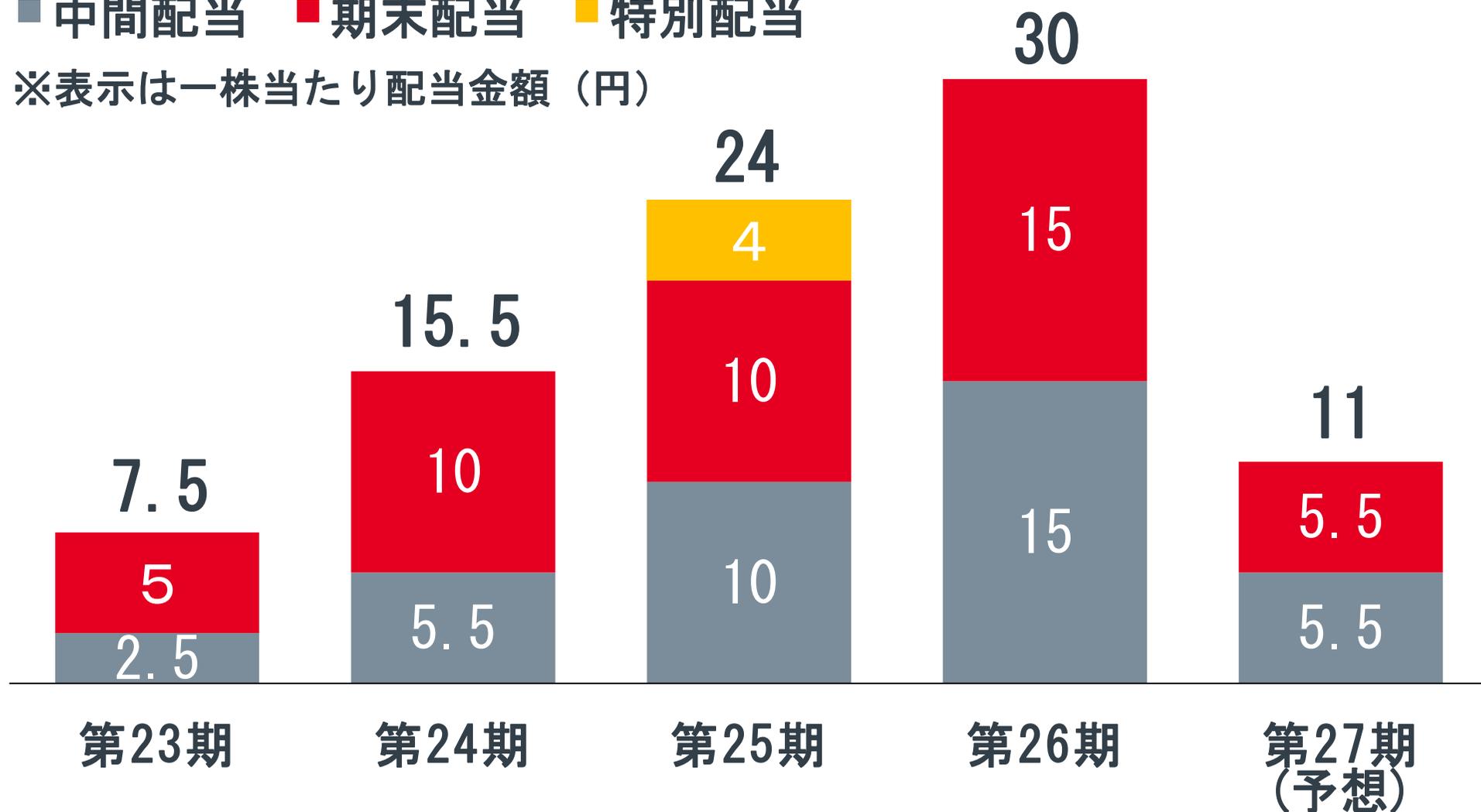
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 基本方針

安定的な配当を行うことを念頭に置きつつ、業績等を勘案したうえで配当金額を決定

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 特別配当

※表示は一株当たり配当金額（円）



中期経営計画の初年度の目標が未達となったことを踏まえ、本中期経営計画における数値計画を取り下げ

リテールを成長させながらバイク事業の立て直しに注力するとともに、より一層お客様満足度を高める

## ビジョン

「バイクライフの生涯パートナー」の実現

バイクのことなら

**BIKE 王**

## 6. 決議事項

招集ご通知 P48～54

## 第1号議案

第26期剰余金処分の件

## 第2号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

## 第3号議案

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

## 第26期剰余金処分の件

- (1) 配当財産の種類 : 金銭
- (2) 株主に対する期末財産の割当に関する事項およびその総額 : 15円 総額 217,793,970円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日 : 2024年2月28日

	中間	期末	合計
第26期	15円	15円	30円

取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

いし かわ あき ひこ  
石 川 秋 彦

か とう よし ひろ  
加 藤 義 博

おお たに ま き  
大 谷 真 樹

さわ あつ し  
澤 篤 史

こ みや けん いち  
小 宮 謙 一

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

く ぼ た せい ら  
久 保 田 征 良

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

# 7. 質 疑 応 答 ・ 審 議

## 8. 議案の採決

## 第1号議案

第26期剰余金処分の件

## 第2号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

## 第3号議案

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

## 第26期剰余金処分の件

- (1) 配当財産の種類 : 金銭
- (2) 株主に対する期末財産の割当に関する事項およびその総額 : 15円 総額 217,793,970円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日 : 2024年2月28日

	中間	期末	合計
第26期	15円	15円	30円

取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

いし かわ あき ひこ  
石 川 秋 彦

か とう よし ひろ  
加 藤 義 博

おお たに ま き  
大 谷 真 樹

さわ あつ し  
澤 篤 史

こ みや けん いち  
小 宮 謙 一

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

く ぼ た せい ら  
久 保 田 征 良

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

## 9. 閉会宣言

バイクのことなら

**BIKE 王**